



高輪だより

令和3年度 1月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

3学期のはじまりに

柿沼 敦子

今年の干支は壬寅（みずのえとら）。「辛く厳しい冬はいずれ終わり暖かい春が来る。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれる」壬寅はそんな年だそうです。コロナ禍の収束を願い、世の中が躍動する年になることを期待します。

冬休み中に12月末の幼児の姿を思い浮かべていました。年中のサンタごっこでのことです。A児はサンタに「クマのぬいぐるみがほしい」とお願いします。B児サンタは、ぬいぐるみ？と少し困った様子でしたが、すぐに「クマの絵でもいい？」と優しくA児に聞きました。A児は一瞬、戸惑った様子でしたが「いいよ！」と元気に返事をしました。普通の会話のようですが、ここに年中児としての大きな育ちを感じました。1学期の頃は、二人に限らず、相手に自分の思いを言葉で伝えることが難しかったり、相手の思いを受け止められなかったりすることが多く、通じ合えないためにいざこざが多く発生していました。担任は相手の気持ちを伝えたり、言葉での伝え方を教えたり、一つ一つに丁寧に指導してきました。B児は“少し困った”、A児は“一瞬戸惑った”の間にちゃんと自身で考え判断し、言葉にして相手に伝えることができました。そのように成長した年中児の姿を様々な場面で見かけるようになりました。

年少児は、担任が願いを込めて設定する環境の中で、やりたいことを見つけてじっくりと向き合っていて遊んでいます。その姿は、自己実現と集中力を高めていく姿であり、年中、年長に通じ、さらに遊びや活動を豊かにします。誰かに言われたからではなく主体的だからこそ、楽しみながら成し遂げていきます。これが大切です。

年長児は、12月の誕生会で年中児に自分たちが担ってきた司会の仕方を教える場面がありました。担任は子どもたちの育ちを信頼し自分たちで考えて行う姿を見守りました。年長児は、さりげなく、タイミングを合わせたり、言葉を教えたりする姿がありました。思いやりの気持ちが大きく育っていることに大拍手を送りました。

3年間の園生活の中では様々な直接体験を通して、生活習慣が確立し、集中力や考え判断する力、人と関わる力などが培われます。主体的な遊びの中で自己実現していくことが自己有能感を高めます。4月の就学、進級へ向かって期待や自覚を高めていく3学期が始まります。引き続き感染症対策を万全にして教育環境を整えて参ります。今年もご協力をお願いいたします。

今月の指導のねらい

<3歳児>

- 自分の思いを自分なりに表しながら教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 表現遊びの中で教師や友達と一緒に動物になったつもりで動くことを楽しむ。
- 戸外で、冬ならではの自然に触れたり、教師や友達と体を動かして遊んだりすることを楽しむ。

<4歳児>

- 自分なりの目的をもち、繰り返し試したり、友達と誘い合って遊んだりする楽しさを味わう。
(引きごま、メモリーカード、かるた、縄跳び など)
- 学級の友達と一緒に絵本などの話に沿って動き、その中で自分なりに表現をすることを楽しむ。
- 生活に必要なことに気づき、自分からすすんでしたり、友達と一緒にしようとしてしたりする。

<5歳児>

- 互いの良さを認め合いながら、友達と一緒にルールを守ったり、競い合ったりする遊びを楽しむ。
- 共通の目的に向けて、学級全体で取り組み、自分の考えを友達に分かるように伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら劇を作り上げていく充実感を味わう。
- 学級の友達と飼育物や、栽培物に向き合い、進んで世話をしたり思いやりの気持ちをもったりする。

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

2022年 とらとし

3歳児 自分の足型とクレヨン



4歳児 絵の具とクレヨン



5歳児 墨と絵の具

